

# 「御成遺産」の 保全と活用を考えるシンポジウム

～御成旧講堂と旧鎌倉図書館を確かに保存し豊かに活かすために～

長年据え置かれていた御成旧講堂と解体予定だった旧鎌倉図書館が、2015年、保存活用にむけて大きな一歩を踏み出しました。

御成小学校に隣接するこれらの歴史文化的価値とは？

全国各地に遺る近代建築の学校や図書館は、現在どのように活用されているのか？

御成遺産をよりよい形にして次世代につないでいくためのシンポジウムに、ぜひご参加下さい。



日 時 : 1月31日(日) 13時～16時30分

場 所 : 鎌倉市中央図書館 3階 多目的室

プログラム : 講演 小黒 浩司(作新学院大学 日本図書館文化史研究会)  
旧鎌倉図書館と御成旧講堂をどう活用するか?  
講演 島本 千也(地理・地域研究 鎌倉の別荘地時代研究会)  
鎌倉の別荘地文化と「御成遺産」  
全体討議

資料代 : 参加に際し、資料代として500円頂きます。

申込方法 : 参加ご希望の方は、氏名(ふりがな)、電話番号(緊急連絡用)を下記まで、電子メール、またはファックスでお申込ください。

電子メール : [info@totomo.sakura.ne.jp](mailto:info@totomo.sakura.ne.jp)

ファックス : 0467-45-5731(阿曾)

申込締切 : 1月29日(金)(必着)でお願いします。

主催 図書館とともだち・鎌倉 HP <http://totomo.sakura.ne.jp/index.html>

Facebook <http://facebook.com/totomokamakura>

Twitter <http://twitter.com/totomokamakura>

御成小講堂の保全活用をめざす会 Facebook <https://www.facebook.com/OnariKoudouHK/>

後援 鎌倉市(予定)

## 講師プロフィール

### ■ 小黒 浩司 (おぐろ こうじ)

**略歴** 1957年生まれ。東京都立羽田工業高等学校教諭、土浦短期大学専任講師などを経て、現在作新学院大学教授。

**著作** 『図書館資料論』(編著、東京書籍、2008年)、『図書・図書館史』(編著、日本図書館協会、2013年)、「図書館としての耕雲館」『震災と復興建築：大正時代の駒澤大学』(分担執筆、駒澤大学禅文化歴史博物館、2013年)、編・解題『戦前期「外地」図書館資料集。北京編』 編・解題、金沢文圃閣、2014年) など

**社会的活動** 栃木県教育委員会「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」事業委員会委員、宇都宮市教育委員会「宇都宮市読書活動推進計画」等に係る参考人) など

### ■ 島本 千也 (しまもと かずや)

**略歴** 1951年生まれ。約36年間、神奈川県内公立高校の社会科(地理)教諭を勤め、2010年3月退職。現在は、鎌倉・湘南地区のフィールドワークをもとに執筆活動を行うなど、地域研究者、鎌倉ガイドとして活動中。

**著作** 「鎌倉・都市の記憶」「鎌倉別荘物語 明治大正のリゾート都市」「海辺の憩い 湘南別荘物語」「鎌倉クイズウォークラリー」(湘南社)「詩華集(アンソロジー)鎌倉を楽しむ俳句」(湘南社)「地図に刻まれた歴史と景観 I 藤沢市」(新人物往来社)「湘南の誕生」(藤沢市)「ふるさと鎌倉」(郷土出版社)「ふるさと藤沢」(郷土出版社) など

**社会的活動** 「高浜虚子の俳句と歩く鎌倉」観光ガイド「鎌倉の別荘地時代ツアー」「葉山、大磯などの別荘地ツアー」鎌倉、湘南地区に関する地理、歴史講座 など

#### 図書館とともにだち・鎌倉

図書館利用者によって1998(平成10)年に発足した図書館友の会。鎌倉市内の公共図書館や学校図書館の充実・発展を願って活動中。2011(平成23)年に鎌倉の図書館が創立100周年を迎えた折には、職員とともに『鎌倉図書館百年史』編纂、記念展示会開催、鎌倉市図書館振興基金設立など協働で記念事業に取り組んだ。

#### 御成小「講堂」の保全活用をめざす会

2014(平成26)年4月25日に発足した。御成小「講堂」の歴史的価値を再認識し、保全と活用を目指して活動中。利用方法がないまま「講堂」の老朽化が進んでいる現状に、危機感を持つ市民有志によって設立された。